

キリングroup 2020年2月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングroupの2月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、103%の着地となった。
 - ・各カテゴリーの注カブランドである「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「本麒麟」がそれぞれ前年を上回った。
- ビール計は、99%の着地となった。
 - ・一番搾りは新CMの投入や営業活動の強化もあり、好調。とりわけ一番搾り缶は108%と大きく前年を上回った。
- 新ジャンル計は、108%となった。
 - ・本麒麟は122%と引き続き好調に推移し、12カ月連続^{※1}の前年超えも達成した。

※1：2018年3月～2020年2月の販売数量

カテゴリー	前年比
ビール類計	103%
ビール計	99%
発泡酒計	98%
新ジャンル計	108%
RTD計	103%

2. メルシャン社

- 主要商品については、日本ワインの「シャトー・メルシャン」の販売が絶好調であるなど、おおむね好調であった。

カテゴリー	前年比
ワイン合計	96%
国内製造ワイン計	100%
輸入ワイン計	93%

3. キリンビバレッジ社

- 3月のリニューアル発売を控えた「生茶」の好調と、「プラスの健康」カテゴリーのプラズマ乳酸菌飲料の好調が寄与し、104%着地となった

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	104%

以上